

事業番号	11 06 07	事業改善シート（28年度実施事業分）			<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	地すべり対策費				担当課	部局	建設部	
						課・局・室	砂防課	
						E-mail	sabo@pref.nagano.lg.jp	
総合5か年計画	プロジェクト				実施期間	S27 ~		
	施策の総合的展開	4-1 地域防災力の向上 4 災害に強い地域づくり						
人口定着・確かな暮らし実現総合戦略	信州創生の基本方針	5-1 賑わいある快適な健康長寿のまち・むらづくり						
	施策展開	4-(1) 確かな暮らしを支える地域構造の構築 (イ) 既存資産のマネジメント強化						

1 事業の概要

目指す姿	地すべり対策事業を実施して地すべり防止施設の新設を行うことにより、人家、公共建物、河川、道路等の公共施設等に対する地すべり被害を除去・軽減し、県土の保全と民生の安定に資する。										
現状（予算編成時）	国土交通大臣が指定する地すべり防止区域において、集排水施設やアンカー・杭等の地すべり防止施設の新設のほか、既存施設の改良により、地すべりを防止している。										
県が関与する理由	県でなければ実施不可（法令等義務）		【左記の説明、根拠法令等】 地すべり等防止法								
	県民との協働による実施：実施は困難										
成果目標・事業内容	① 成果目標（H28）										
	○地すべり防止施設を整備し、保全人家戸数を56戸増加させる。 ○神城断層地震被災箇所対策促進等 6箇所実施（9月補正分）										
	② 事業内容 （単位：千円）										
		項目	実施方法	H28事業実績	H28 （当初）	H28 （決算）	H29 （当初）				
	地すべり対策事業	直接	前沢区域他35箇所において地すべり対策工事、調査設計、用地補償等を実施した。	2,132,000	2,611,078	1,840,800					
			合計	2,132,000	2,611,078	1,840,800					
事業コスト	区分（単位：千円）	27年度	28年度	29年度	成果目標の達成状況						
	前年度繰越	720,194	893,822	757,944	項目	H26末	H27末	H28		H29 目標	
	当初予算	1,626,000	2,132,000	1,840,800				目標	成果		達成状況
	補正予算	713,990	343,200		保全人家戸数 （累計）	266 （13,815）	105 （13,920）	56 （13,976）	70 （13,990）	達成	82 （14,072）
	合計（A）	3,060,184	3,369,022	2,598,744							
	Aの財源	一般財源	138,975	40,582	101,265						
		県債	1,441,100	1,697,000	1,236,000						
		国庫支出金	1,480,109	1,631,440	1,261,479						
		その他	0	0	0						
	決算額（B）	2,166,362	2,611,078								
概算人件費	職員数（人）	23.03	31.15	26.89							
	概算人件費（C）	-	-	-							
概算事業費（B（A）+C）	2,166,362	2,611,078	2,598,744								

目標に対する成果の状況	地すべり防止施設の整備を行い、平成28年度末において13,990戸の人家が保全でき、地すべりの安定化を図ることができた。
-------------	--------------------------------------------------------------

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	地形が急峻で脆弱な地質構造をしている長野県では毎年のように地すべり災害が発生しており、地域住民の生命、財産を守るため当該事業は重要である。要整備箇所は依然として多い状況にあり、地すべり防止工事の施工は他の主体が行うことは現実的に困難であるため、引き続き県の施工により、箇所毎の事業内容を精査し、効率的、効果的な整備を実施して参りたい。